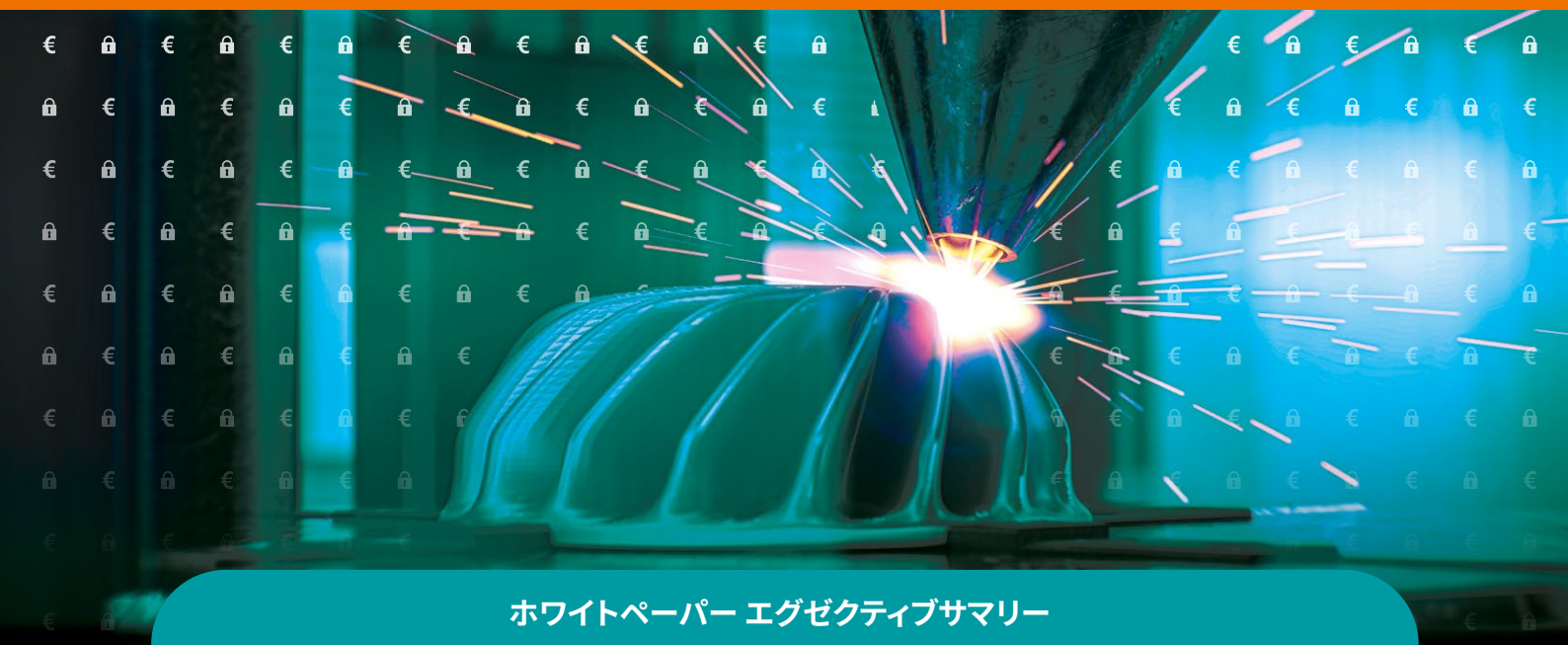


ホワイトペーパー エグゼクティブサマリー

3D プリントパーツの保護と収益化

CodeMeter による 3D プリント用データの保護とライセンシング

自動車産業において、スペア部品の 3D プリントは、数多くの利点と革新的な可能性をもたらします。スペア部品の迅速な入手、製造コストの効率化、特定の要件に合わせた容易なカスタマイズや最適化、保管コストの削減などの利点と可能性があります。

しかし、標準化されたプロセスを確立し、本当の意味で産業的地位を獲得するための品質を確保するには、技術とコストの両面での課題が存在します。今後数年のうちに、3D プリントパーツの選定から保管、発注、追跡に至るまで、すべてのプロセスがデジタル技術によって紐づき、最適化されることでしょう。こうした状況を踏まえると、技術やプロセスを最適化するための投資の必要性を説き、従来の製造方法に対する競争上の優位性を維持するためには、業界の収益モデルを向上させることが不可欠になります。

本ホワイトペーパーでは、「3D プリントされたスペア部品の収益化」というトピックを掘り下げ、製造工程で 3D プリントを使用することで生じる課題と機会、特に 3D プリント用データという知的財産 (IP) の保護とライセンシングに関する課題に焦点を当てます。Wibu-Systems が提供する CodeMeter のライセンシングと保護テクノロジーの統合に関しては、ユースケースにて詳細に説明しているため、そちらをご覧ください。

Daimler Buses は、バスに用いるスペア部品の製造に 3D プリント技術を使用することで、納期の短縮、在庫の最小化を実現しています。これにより、エンドユーザーの要望への迅速な対応、製造と物流の効率化が可能になりました。その結果、Daimler Buses は、スペア部品の販売を大幅に向上させ、自動車産業において、3D プリントパーツを販売する企業の第一号となりました。今では、Mercedes-Benz と Setra バス向けのヨーロッパ最大のサービスネットワーク、OMNIplus で、3D プリントに対応する多くのスペア部品が、デジタル形式で販売されています。世界中のバス会社やサービスパートナーは、これらの部品を購入し、その場で直接プリントすることができます。このプロセスは、CodeMeter の暗号化とライセンシングソリューション、そして、認証されたプリンターによって実現されています。

CodeMeter は、データの暗号化、およびライセンスの作成・セキュアな配布、これら 2 つの技術を支えています。Farsoon Technologies および 3D Systems は、CodeMeter 技術をソフトウェアに統合し、OMNIplus からプリンターまでの安全なプロセスチェーン構築に貢献しています。認証された 3D プリンターの数は、着実に増えており、3D プリント技術の成功と市場への浸透が期待されています。

また CodeMeter は、3D プリントにおける IP 保護を保証し、特に、OMNIplus と連動した ERP システムとの統合という観点から、より容易なライセンシングを可能にする様々な機能も提供しています。製造と配布、両方のプロセスに CodeMeter を統合することで、設計データの保護、ライセンス管理の効率化、販売プロセスの自動化、品質管理の確保、トレーサビリティとコンプライアンスの実現など、セキュリティと効率のさらなる向上が可能になります。

他にも本ホワイトペーパーでは、さらなるユースケースや、技術の経済的可能性を紹介し、最後には、3D プリント業界における今後の発展と、それが IP のセキュリティやライセンシングに与える影響についての見通しも示しています。

ホワイトペーパーをダウンロード

sales-jp@wibu.com | www.wibu.jp

2026-03-03